



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月15日

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所 東
 コード番号 7351 URL https://goodpatch.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 榎島 俊幸 (TEL) 03(6416)9238
 定時株主総会開催予定日 2021年11月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	2,741	27.9	406	87.5	393	85.8	327	51.9
2020年8月期	2,143	27.3	216	187.3	211	153.3	215	275.9

(注) 包括利益 2021年8月期 329百万円(52.5%) 2020年8月期 216百万円(312.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	43.34	40.34	18.7	15.9	14.8
2020年8月期	31.14	28.67	30.8	18.2	10.1

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 ー百万円 2020年8月期 ー百万円

(注) 1. 当社は、2020年6月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しております。また、2020年3月17日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該普通株式の交付及び当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	3,439	2,571	74.7	324.47
2020年8月期	1,511	938	62.1	129.05

(参考) 自己資本 2021年8月期 2,568百万円 2020年8月期 938百万円

(注) 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しております。また、2020年3月17日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該普通株式の交付及び当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	483	△64	1,418	2,780
2020年8月期	145	△77	359	939

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,778	37.8	518	27.6	486	23.6	375	14.5	47.38

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	7,917,280株	2020年8月期	7,272,160株
② 期末自己株式数	2021年8月期	363株	2020年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	7,560,354株	2020年8月期	6,927,562株

（注）当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しております。また、2021年3月17日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該普通株式の交付及び当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考） 個別業績の概要

1. 2021年8月期の個別業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	2,414	27.7	361	34.4	346	28.8	280	29.4
2020年8月期	1,890	34.9	269	177.1	269	187.2	216	216.4
	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年8月期	37.10		34.53					
2020年8月期	31.29		28.80					

（注）1. 当社は、2020年6月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から前事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しております。また、2020年3月17日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該普通株式の交付及び当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年8月期	3,275	2,542	2,542	959	77.5	320.84	
2020年8月期	1,387	959	959	959	69.1	131.87	

（参考）自己資本 2021年8月期 2,540百万円 2020年8月期 959百万円

（注）当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しております。また、2020年3月17日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該普通株式の交付及び当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、当事業年度において、高まるデジタルトランスフォーメーション（DX）のニーズを受け、デザインパートナー事業における問い合わせ数が増加し、連動して受注が堅調に推移したことにより、売上高が前事業年度を上回ったこと、デザインプラットフォーム事業における「Goodpatch Anywhere」のプロジェクト件数の拡大、並びに「ReDesigner」の採用実績が増加したことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 5「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、依然として厳しい状況にある中、ワクチン接種など、その影響の縮小を目指した動きがみられています。日本経済においては、政府による経済対策等により持ち直しの動きが見られましたが、変異株の流行に伴う感染の再拡大により、断続的に緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置が実施されるなど、先行きの不透明な状況は継続しております。加えて、日本企業は、グローバル化、戦略実現のスピードアップ、イノベーション創発、企業間連携の促進、生産性の向上、また、それらを実現するためのテクノロジーの活用といったテーマに直面し、激しく変化する市場環境における経営のあり方そのものの見直しを迫られております。

特に大手企業を中心に、デジタルトランスフォーメーション（DX）（注1）に高い関心が寄せられており、既存のビジネスモデルや業界構造を大きく変化させる新たなデジタル化の流れが引き続き強いものとなっております。企業は顧客により高い付加価値を提供するため、クラウド等のプラットフォーム、スマートフォンやIoT等の新たなデバイス、AIやブロックチェーン等の新たなテクノロジーを組み合わせたサービスの開発が進められております。

このような事業環境の中、当社グループは「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」をビジョンとして掲げ、顧客企業が提供するサービスに期待される価値の創造を支援し、最適なデザインを設計するデザインパートナー事業、そして、自社サービスである「Goodpatch Anywhere」、「ReDesigner」、「Strap」、「Prott」及び「Athena」などのサービスで構成されるデザインプラットフォーム事業を主要事業と位置づけ、相互にシナジーを創出することに注力しながら各事業を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は2,741,275千円（前連結会計年度比27.9%増）、営業利益は406,211千円（前連結会計年度比87.5%増）、経常利益は393,907千円（前連結会計年度比85.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は327,653千円（前連結会計年度比51.9%増）となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、顧客企業の持つ本質的な価値を発見し、その要素を紐解きながら、顧客企業のユーザーが持つ価値観に則して、その価値が適切に伝わるように顧客企業の戦略やブランディング、ビジネスプロセス等も踏まえてデザインを実装していきます。その際に、当社のUXデザイナー及びUIデザイナーが中心となり、顧客企業のプロジェクトチームと一体となって、デザインプロジェクトをリードします。

主にWebサイトやアプリケーション等のデジタルプロダクトのデザイン開発を進めたい顧客企業に対しては、顧客企業が必要とするUI/UXデザイン（注2）の実現を支援します。さらにそのようなデジタルプロダクトの実装や開発まで希望する顧客企業に対しては、当社のエンジニアによりアプリケーション開発を行います。そのような過程において、顧客企業は既存ビジネスプロセスをデジタル化し、イノベーションの創出を図ることが可能です。また顧客起点の新たな価値創出のための変革を図りたい顧客企業に対しては新規事業の検証やアイデアを創出するための支援についても行っております。

近年デジタルトランスフォーメーション（DX）が注目を集め、企業がデジタル領域において変革を求められる状況の中で、デザインの持つ役割の重要性は益々高まっており、当社グループにおいても、日本国内を主として、当事業への問い合わせが増加する等、需要の増加が顕著な状況となります。そのような状況の中、当社グループとしては数多くのデジタルデザイン支援の知見を集約し、経験豊富なデザイナーを集め、育成することで、より多くの企業に対して、高品質なデザイン支援を行うことが可能になります。そのため、当社グループはデザイナーの採用活動を積極的に行い、提供リソースであるデザイナー人員を拡大するとともに、より幅広い業種業態の顧客企業に対してデザイン支援プロジェクト実施してまいりました。

当連結会計年度においては、デジタルトランスフォーメーション（DX）のニーズの高まりを受け、月平均プロジェクト単価は5,588千円（前連結会計年度比0.6%増 上半期：5,412千円、下半期：5,729千円）となりました。また第3四半期連結会計期間より新規プロジェクトの開始が加速し、月平均プロジェクト件数は27.1件（前連結会計年度比23.3%増 上半期：27.0件、下半期：28.8件）となりました。また、社内デザイン組織のデザイナー数は順調に増加し、当連結会計年度末において122名（前連結会計年度比10.9%増）となりました。

この結果、当連結会計年度におけるデザインパートナー事業の売上高は1,996,191千円（前連結会計年度比26.7%増）、営業利益は364,743千円（前連結会計年度比92.0%増）となりました。

② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。具体的には、登録した外部デザイナー人材によるフルリモートでUI/UXデザインプロジェクトを実施する「Goodpatch Anywhere」、自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービス「ReDesigner」、2020年9月1日に正式リリースしたクラウドワークスペース「Strap」、デザインパートナー事業で培ったナレッジの蓄積をもとにしたプロトタイピングツール(注3)「Prott」及びVR(Virtual Reality:仮想現実)/AR(Augmented Reality:拡張現実)(注4)を活用したデザインツール「Athena」で構成され、それぞれのシナジーを創出し、デザインに関連したビジネスの拡大を行うものとなります。

当連結会計年度において、「Goodpatch Anywhere」は、外部デザイナー人材の登録者数が増加するとともに、デザインプロジェクトの件数が拡大しております。「ReDesigner」は、契約企業数や内定者数が増加し、採用支援実績を積み上げております。「Strap」並びに「Prott」においては、「Prott」のリソースを有効に活用し、「Strap」の機能開発を強化しております。また「Athena」は、カードデザインをVR環境で行うことができるソフトウェアの開発を連結子会社Goodpatch GmbHにて進め、機能拡充を図っております。

この結果、当連結会計年度におけるデザインプラットフォーム事業の売上高は745,083千円(前連結会計年度比31.1%増)営業利益は41,467千円(前連結会計年度比55.7%増)となりました。

- (注) 1. デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、Digital Transformationの略語で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客企業や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること、を意味します。
2. UI(User Interface/ユーザーインターフェース)とは、「ユーザーがPCやスマートフォン等のデバイスとやり取りをする際の入力や表示方法などの仕組み」を意味します。またUX(User Experience/ユーザーエクスペリエンス)は「サービスなどによって得られるユーザー体験」のことを指します。
3. プロトタイピングとは、最終成果物の試作品を早い段階から作り、改善を繰り返す手法のことを意味します。
4. VRとは、Virtual Reality(仮想現実)の略であり、現物・実物(オリジナル)ではない機能としての本質は同じであるような環境を、ユーザーの五感を含む感覚を刺激することにより理工学的に作り出す技術及びその体系を意味します。またARとは、Augmented Reality(拡張現実)の略であり、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を仮想的に拡張するという技術を意味します。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,917,882千円増加し、3,136,505千円となりました。主な要因は、2021年2月9日に発行した第6回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）の行使等による現金及び預金の増加1,840,160千円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10,471千円増加し、303,129千円となりました。主な要因は、デザインパートナー投資の実行等による投資有価証券の増加43,533千円及び在外連結子会社における使用権資産の減少20,100千円であります。

この結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,928,354千円増加し、3,439,635千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ169,459千円増加し、551,163千円となりました。主な要因は、顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の増加35,710千円、新規借入による1年内返済予定の長期借入金の増加22,749千円、未払金の増加31,060千円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ126,126千円増加し、317,208千円となりました。主な要因は、新規借入による長期借入金の増加146,685千円及び在外連結子会社におけるリース債務の減少20,071千円であります。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて295,585千円増加し、868,372千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,632,769千円増加し、2,571,263千円となりました。主な要因は、2021年2月9日に発行した第6回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）の行使等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ650,305千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴う利益剰余金の増加327,653千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,840,160千円増加し、2,780,074千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは483,316千円の収入（前連結会計年度は145,898千円の収入）となりました。これは、税金等調整前当期純利益の計上393,907千円や減価償却費52,956千円等の増加要因があった一方で、売掛債権の増加48,480千円やたな卸資産の増加22,718千円等の減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは64,850千円の支出（前連結会計年度は77,618千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出21,619千円や投資有価証券の取得による支出43,982千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,418,110千円の収入（前連結会計年度は359,426千円の収入）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,268,924千円や長期借入金による収入300,000千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢は、世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による影響が懸念されておりますが、各種政策やワクチン接種の促進により、その影響の縮小を目指した動きがみられ、経済活動への制限は徐々に緩和されることが期待されます。日本企業におきましては、企業価値の向上を目指すために必要な事業戦略の立案、新規ビジネスやサービスの創出、そして、それらを実現するためのデジタル技術やテクノロジーの活用等、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）需要は堅調に推移しているものと考えております。

当社グループにおける状況は次のとおりであります。

デザインパートナー事業においては、高まるデジタルトランスフォーメーション（DX）のニーズを受け、問い合わせ数が増加し、連動して受注が堅調に推移しております。今後においては、「積極的な採用・人材投資を通じたデザイン組織の連続的成長」、「バリューチェーンの拡張と深化」、「グローバル戦略の本格推進」の3つを成長戦略と掲げ、事業の拡大を図ってまいります。

デザインプラットフォーム事業においては、「Goodpatch Anywhere」、並びに「ReDesigner」を主力サービスとして位置づけながら事業成長を計画しております。「Goodpatch Anywhere」においては、引き続きリモートデザインチームのタレントプールを拡充しつつ、プロジェクトの獲得及びサービス提供体制を強化していく計画です。人材紹介サービス「ReDesigner」においては、全てのデザイナーのためのキャリア支援プラットフォームを目指し、ビジネス領域を広げ、副業・フリーランスマッチングサービスを推進してまいります。加えて、2020年9月1日に正式版の提供を開始したクラウドワークスペース「Strap」は中長期の新たな事業の柱として、エンタープライズ向けの導入を促進し、拡販に努めてまいります。

上記の考えに基づき、2022年8月期の連結業績予想は、売上高3,778百万円（前連結会計年度比37.8%増）、営業利益518百万円（前連結会計年度比27.6%増）、経常利益486百万円（前連結会計年度比23.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益375百万円（前連結会計年度比14.5%増）を見込んでおります。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による業績への影響は軽微と想定しております。今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,913	2,780,074
売掛金	235,254	285,207
仕掛品	526	23,357
前払費用	33,083	42,993
その他	9,844	4,873
流動資産合計	1,218,622	3,136,505
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,962	49,356
減価償却累計額	△20,375	△25,862
建物(純額)	31,586	23,493
工具、器具及び備品	119,912	118,936
減価償却累計額	△85,217	△86,246
工具、器具及び備品(純額)	34,695	32,689
使用権資産(純額)	82,404	62,304
有形固定資産合計	148,686	118,487
無形固定資産		
商標権	—	2,229
ソフトウェア	48	0
無形固定資産合計	48	2,229
投資その他の資産		
投資有価証券	52,400	95,933
敷金及び保証金	34,927	30,149
繰延税金資産	56,508	48,405
その他	86	7,924
投資その他の資産合計	143,922	182,412
固定資産合計	292,658	303,129
資産合計	1,511,281	3,439,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,480	24,069
1年内返済予定の長期借入金	90,574	113,324
未払金	44,948	76,008
未払費用	38,423	46,801
未払法人税等	41,592	59,176
未払消費税等	79,335	70,307
前受金	6,993	42,703
前受収益	30,717	35,602
リース債務	20,129	22,278
受注損失引当金	—	6,333
その他	12,507	54,557
流動負債合計	381,704	551,163
固定負債		
長期借入金	124,985	271,670
リース債務	65,610	45,538
その他	487	—
固定負債合計	191,082	317,208
負債合計	572,787	868,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,190	1,235,495
資本剰余金	580,190	1,230,495
利益剰余金	△221,557	106,095
自己株式	—	△55
株主資本合計	943,822	2,572,031
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,328	△3,229
その他の包括利益累計額合計	△5,328	△3,229
新株予約権	—	2,461
純資産合計	938,493	2,571,263
負債純資産合計	1,511,281	3,439,635

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	2,143,511	2,741,275
売上原価	788,736	1,011,720
売上総利益	1,354,775	1,729,555
販売費及び一般管理費	1,138,171	1,323,344
営業利益	216,604	406,211
営業外収益		
受取利息	7	17
為替差益	3,051	1,458
補助金収入	9,656	2,071
受取家賃	—	4,004
その他	502	1,950
営業外収益合計	13,217	9,502
営業外費用		
支払利息	9,835	5,424
株式公開費用	3,326	—
株式交付費	4,092	7,429
新株予約権発行費	—	7,031
その他	617	1,921
営業外費用合計	17,871	21,806
経常利益	211,950	393,907
特別損失		
事業所閉鎖損	10,230	—
特別損失合計	10,230	—
税金等調整前当期純利益	201,720	393,907
法人税、住民税及び事業税	42,495	58,150
法人税等調整額	△56,508	8,103
法人税等合計	△14,013	66,254
当期純利益	215,734	327,653
親会社株主に帰属する当期純利益	215,734	327,653

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	215,734	327,653
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	492	2,098
その他の包括利益合計	492	2,098
包括利益	216,226	329,752
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	216,226	329,752
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金
当期首残高	455,754	450,754	△437,291
当期変動額			
新株の発行	129,435	129,435	
親会社株主に帰属する当期純利益			215,734
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	129,435	129,435	215,734
当期末残高	585,190	580,190	△221,557

	株主資本	その他の包括利益累計額		純資産合計
	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	469,216	△5,820	△5,820	463,396
当期変動額				
新株の発行	258,871			258,871
親会社株主に帰属する当期純利益	215,734			215,734
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		492	492	492
当期変動額合計	474,605	492	492	475,097
当期末残高	943,822	△5,328	△5,328	938,493

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	585,190	580,190	△221,557	—
当期変動額				
新株の発行	9,698	9,698		
新株の発行(新株予約権の行使)	640,607	640,607		
親会社株主に帰属する当期純利益			327,653	
自己株式の取得				△55
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	650,305	650,305	327,653	△55
当期末残高	1,235,495	1,230,495	106,095	△55

	株主資本	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	943,822	△5,328	△5,328	—	938,493
当期変動額					
新株の発行	19,396				19,396
新株の発行(新株予約権の行使)	1,281,215				1,281,215
親会社株主に帰属する当期純利益	327,653				327,653
自己株式の取得	△55				△55
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		2,098	2,098	2,461	4,560
当期変動額合計	1,628,208	2,098	2,098	2,461	1,632,769
当期末残高	2,572,031	△3,229	△3,229	2,461	2,571,263

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	201,720	393,907
減価償却費	48,049	52,956
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	6,333
為替差損益 (△は益)	△3,045	△1,436
受取利息	△7	△17
補助金収入	△9,656	△2,071
受取家賃	—	△4,004
支払利息	9,835	5,424
株式交付費	4,092	7,429
株式公開費用	3,326	—
新株予約権発行費	—	7,031
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,497	△48,480
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,380	△22,718
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,306	△5,943
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,033	7,332
未払金の増減額 (△は減少)	△51,263	32,332
未払費用の増減額 (△は減少)	8,685	7,888
前受金の増減額 (△は減少)	1,803	35,684
前受収益の増減額 (△は減少)	△9,934	4,885
未払消費税等の増減額 (△は減少)	46,547	△9,090
その他	△11,883	67,214
小計	183,880	534,658
利息及び配当金の受取額	7	17
利息の支払額	△9,835	△5,448
補助金の受取額	9,656	1,373
家賃の受取額	—	4,004
法人税等の支払額	△37,811	△51,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,898	483,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,532	△21,619
投資有価証券の取得による支出	△52,400	△43,982
敷金及び保証金の差入による支出	△2,509	—
敷金及び保証金の回収による収入	505	—
その他	317	751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,618	△64,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	210,864	300,000
長期借入金の返済による支出	△85,021	△131,343
新株予約権の発行による収入	—	1,176
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,268,924
株式の発行による収入	254,779	—
株式公開費用の支出	△3,326	—
リース債務の返済による支出	△17,869	△20,591
その他	—	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	359,426	1,418,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,298	3,583
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	431,004	1,840,160
現金及び現金同等物の期首残高	508,908	939,913
現金及び現金同等物の期末残高	939,913	2,780,074

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象になっているものであります。当社グループは、「デザインパートナー事業」と「デザインプラットフォーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「デザインパートナー事業」は、Webサイトやアプリケーション等のデジタルプロダクトをはじめとしたUI/UXデザイン支援、アプリケーション開発、新規事業の検証やアイデアを創出するための支援を行っております。

「デザインプラットフォーム事業」は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。フルリモートでUI/UXデザインプロジェクトを実施するGoodpatch Anywhere、自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービスReDesigner、自社開発のSaaSプロダクトであるStrap及びPrott、VR/ARを活用したデザインツールAthena等を提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	デザイン パートナー事業	デザインプラッ トフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,575,104	568,406	2,143,511	—	2,143,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	750	—	750	△750	—
計	1,575,854	568,406	2,144,261	△750	2,143,511
セグメント利益	189,973	26,630	216,604	—	216,604
その他の項目					
減価償却費	41,657	6,392	48,049	—	48,049

- (注) 1. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. セグメント資産及び負債の金額については、事業セグメントに資産及び負債を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない資産の減価償却費等は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。
3. セグメント売上高の調整額750千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	デザイン パートナー事業	デザインプラッ トフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,996,191	745,083	2,741,275	—	2,741,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,996,191	745,083	2,741,275	—	2,741,275
セグメント利益	364,743	41,467	406,211	—	406,211
その他の項目					
減価償却費	43,302	9,653	52,956	—	52,956

- (注) 1. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と一致しております。
2. セグメント資産及び負債の金額については、事業セグメントに資産及び負債を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない資産の減価償却費等は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	129.05円	324.47円
1株当たり当期純利益	31.14円	43.34円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	28.67円	40.34円

(注) 1. 当社は、2020年6月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しておりますが、前連結会計年度の期首に当該普通株式の交付が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。なお、当社が取得したA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式は、同日付で会社法第178条に基づき全て消却しております。
3. 当社は、2020年3月17日開催の取締役会決議により、同日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	215,734	327,653
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	215,734	327,653
普通株式の期中平均株式数(株)	6,927,562	7,560,354
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	598,133	562,434
(うち新株予約権(株))	(598,133)	(562,434)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第7回新株予約権 新株予約権の数 2,180個 (普通株式) 218,000株

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	938,493	2,571,263
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	2,461
(うち新株予約権(千円))	—	(2,461)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	938,493	2,568,801
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,272,160	7,916,917

(重要な後発事象)

該当事項はありません。